

ICT 活用授業報告 県立山形西高等学校 1 年 地理総合

世界の宗教と人々の生活



日 時：令和 5 年 10 月 17 日（火） 13：30～14：20

場 所：1 年 2 組教室

対 象：1 年 生徒 40 名

授業者：安藤 紀子 教諭

1 主に活用した機器・コンテンツ

・1 人 1 台端末 (Chromebook) ・大型提示装置 ・Google Classroom ・Google フォーム

2 授業

(1) 本時の目標

- ① 世界の三大宗教と主要な民族宗教の分布には、どのような傾向が見られるのかについて考察し、理解することができる。
- ② 宗教と人々の生活には、どのような関わりがあるのかについて考察し、理解することができる。

(2) ICT を活用した指導過程

「世界の宗教と人々の生活」において、食生活と宗教について理解するために、例としてイスラム教などを取り上げる。その際に、さまざまな意見をまとめたり、それぞれが調べたものを共有したりすることで、話し合いを進め理解が進むよう ICT を活用する。

時間※1	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器等	情報活用能力※2
導入 5 分	●回答結果の全体共有 考えをまとめて発表	○スライドを大型提示装置で示す	・大型提示装置 ・1 人 1 台端末	
展開 45 分 協働 C1	●回答結果の共有 「食生活と宗教」 イスラム教について 	○ICT 活用ポイント 1 生徒が多様な意見を共有し話し合いを深めるため、事前に Google フォームに回答したものをを用いて話し合いを行う。	・大型提示装置 ・1 人 1 台端末 ・Google フォーム ・Google Classroom	A 2 ①g ステップ 2 自他の情報を組み合わせて表現する方法
個別 B 2 協働 C 1	●調べた情報のまとめと共有 ハラルマークのある日本の食材を探す	○ICT 活用ポイント 2 生徒が個々にそれぞれが調べたものをもとに円滑に話し合いを進めるために、Google classroom で共有していく。 		B 1 ステップ 2 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現する
まとめ 5 分	●宗教の違いによるさまざまな生活の理解	○確認クイズを行う	・Google フォーム	

※1 アルファベットや数字の記号は、文部科学省「学びのイノベーション事業報告書 学習場面に応じた ICT 活用事例」に基づく表記を示す。

※2 アルファベットや数字の記号は、文部科学省「【情報活用能力の体系表例 (IE-School における指導計画を基にステップ別に整理したもの)】(令和元年度版) 全体版」に基づく表記を示す。

3 ICT活用ポイント

ICT活用ポイント1

C1 発表や話し合い

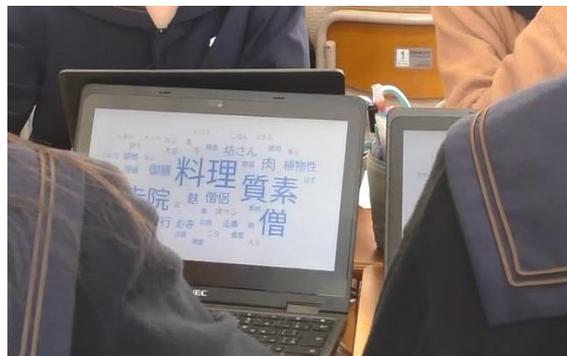
あらかじめ Google フォームを用いて、用意された質問に回答しておく。その解答をまとめた資料をもとにグループごとに話し合いを行う。自分自身の考えに留まらず、他の人のさまざまな意見を参考にしながら学びを深め、意見をまとめていく。

- (1) 生徒各自が Google フォームに回答を行う。
- (2) 指導者が Google フォームのテキストマイニングによる出現頻度の高いワードを集めた図を利用して、回答のまとめを行う。
- (3) まとめた資料を示しながら、自分の意見を考えたり、他の生徒の説明を聞くことにより、新しい気づきを得ることができる。

さまざまな意見について捉える



テキストマイニングのワードクラウドで特徴を把握していく



ICT活用ポイント2

B2 調査活動 C1 発表や話し合い

1人1台端末を用いて、用意された問いに関する情報を検索していく。その結果を共有したものに基づいてグループごとに話し合いを行う。話し合いをとおして、自分が検索することで得た情報に加え、他の人の情報も得ながら適切な情報について判断し、学びを深めていく。

- (1) 生徒が1人1台端末を用いて、「日本の食材でハラルマーク」のあるものを検索する。
- (2) それぞれが検索し見つけた画像等を Google classroom で共有する。
- (3) Google classroom で共有された情報をもとにした話し合いを行う。
この際に、さまざまな情報にふれることにより、各個人が得た情報がさらに広がり、話し合いの新たな展開や知識の深化等が期待できる。

個々の検索とグループ・クラスの共有

